

第8回

な_お **| | | | |** さん

株式会社 FM いずのくに 営業・マガジン制作

オ局で働いていたことも。 いう山口さんは、 市内外を駆け回っています。 かつては別のラジ



ラジオで 人と人を繋げた

V

「本当は人前で話すことが苦手な 山口さんの仕

ずのくにマガジンの広告、クラブい が巧みな話術で番組を放送するイ Mのスポンサーを獲得し、クラブい 事は営業とマガジン制作。番組やC メージが強いですが、 ラジオというと、パーソナリティ んです」と、照れ笑いする山口さん。 昔からメディアに興味があったと のくにカードの加盟店を増やすた

> 験を生かして仕事をして 在は自身の広告会社を経営しなが FMいずのくにでさまざまな経 います

の場であったこともあり、 来れる場所にしたい」と笑顔を浮か たこの場所を「誰もが気軽に遊びに 韮山時代劇場のひだまり広場に面し りを大切にしています。 べる山口さん。FMいずのくにで働 くきっかけが、趣味のテニスの交流 んな開けた場所にあるんですよ」 「FMいずのくにの事務所ってこ 人の繋が

います。いが、今の山口さんを突き動かして ちに恩返しをしたい、 所」。自分が生まれ育ち、そしてい 国市とは「あまりにも当たり前の場 言います。山口さんにとって伊豆の ずっと伊豆の国市が心にあった」と 前。しかし、「地元を離れていた間も、 の伊豆の国市に戻ってきたのは2年 つも温かく迎え入れてくれるこのま 大学卒業後に東京で就職し、地元 という熱い思

だまだ内容を追求したいと意気込ん くにマガジン最新号の完成間近。 取材日は、ちょうどクラブいずの 最新号の日帰り温泉特 ま

集を読んで、温泉と山口さんの熱い

トで温まってください

でいました。

FMいずのくにの『モンゴル国から 行っている歌を教えてくれるのでと 番組では、 ニングの勉強をしていました。 ても興味深かったのを覚えていま 豊富ではありませんでしたが、この 今となっては自分がパーソナリ 歌をノー ーになり、 当時アメリカなどで流 トに書き写して、 毎月第3金曜日に リス

ごしでしょうか。年末年始は毎

日本風に年越しそばを食べ、

ますが、皆さんお変わりなくお過

初春とはいえ寒さが続いており

шинэ оны мэнд хүргэе!

皆さん、サェンバェノー

認の上、 さい。 験会を開催します。下の案内をご確 19日(日)にモンゴル伝統文字書道体 していますので、ぜひ聴いてみてくだ それでは、 最後にお知らせがあります。 は、バヤルタエ。お気楽にご参加ください。 2 月

Mラジオがあります。

いろいろな

毎

える英語」という番組でした。 週楽しみにしていたのは「歌で覚 特徴のあるラジオ番組の中で、

学

8055(948)14 回協働まちづくり課

055 (948) 1

4

生時代は今のように英語の教材が



掲載していますので、私とラジオ 号では、FMいずのくにの特集を

との出会いについて書きたいと思

います。モンゴルには数多くのF

けて新年を迎えます。

この広報いずのくに1月

サェンバェノー』という番組に出演

しています。モンゴルのことを紹介

にはモンゴル風にシャンパンを開

ティ

紅白歌合戦を見て、

ちょうど12時

▲モンゴル文化体験のイベント会場での収録



▲『モンゴル国からサェンバェノー』 放送時のスタジオの様子

料金/無料 定員/各回10人(先着順)

申込/1月23日(月)~2月10日 主催/伊豆の国市友好都市交流協会 ルガル(伊豆の国市国際交流員) (金)に電話もしくはFAXで

3055 (948) 1412

その他/筆や半紙など、当日使用 するものは主催者が用意しま 氏名・連絡先電

策のため、マスク着用・受付で す。新型コロナウイルス感染対 の検温・手指消毒などを徹底し

「触手話」について

☎ 0558-76-8007 FAX 0558-76-8029

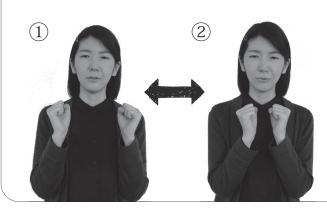
■障がい福祉課

触手話とは、相手の手話を触って読 み取る方法です。

目が見えず耳が聞こえないことを「盲 ろう」といい、盲ろうの人は障がいの程 度や経緯によってコミュニケーション 方法が異なります。耳が聞こえない人 が目が見えなくなった場合、触手話で 会話をすることが多いです。

かんたん手話講座

「冬」の手話は、手を握りこぶしにし て両腕と体を縮こませ、震わせます。 ①と②を繰り返して表現します。



25 2023.1.1 **Izunokuni** 2023.1.1 **Izunokuni** 24

モンゴル伝統文字書道体験会

国際交流員がモンゴルを紹介

ジャルガルの

ぼ

日記

モンゴル国からサェンバェ/第58回

を通じてモンゴル文化に触れてみ 毛筆で書く伝統のモンゴル書道

ところ/あやめ会館2階実習室

講師/サンジドルジ・ムンフジャ

申込先/伊豆の国市友好都市交流 協会事務局(協働まちづくり課内)

(平日8時30分~17時15分)